・市長コメント（まとめ）

保護者の方、現場の職員の方の生の声、貴重なご意見を伺うことができました。
ありがとうございました。

ご意見には、お聞きしてすぐ取り組めるもの、予算を必要とするもの、計画が必要なもの、職員がもっと頑張らなくてはいけないことなど、多岐にわたるご意見、ご要望をお聞きしました。

その中で、地域のボランティアの方たちとこども園や小学校の授業、イベント等に交流がもてないか？地域とのつながりが希薄化している。昔はもっと地域の方が保育所や小学校のイベントに参加していた。というご意見がありました。

阿波市は、未来をつくる子どもたちは、ひとりひとりが阿波市の宝で、かけがえのない存在です。を前文に「阿波っ子条例」を令和４年４月１日施行しています。

（目的）　第１条　この条例は、こども・子育て支援についての基本理念を定め、子どもが大切にされること並びに保護者、学校等、地域住民、地域団体及び事業者の役割並びに市の責務等の子ども・子育て支援を総合的に推進していくための基本的事項を明らかにすることにより、安心して子どもを産み育てることができる環境を整え、子どもが健やかに成長できる社会の実現に寄与することを目的とする。

（以下　条例全文添付参照）

子育ては、地域社会、事業者ほか社会全体で支援する育てるといった内容であります。が、今日のご意見を聞く限りは条例が生かされていない様に思います。

今日は担当課の子育て支援課の課長も出席しております。しっかりとご意見を聴取したと思います。条例を制定して終わりでなく、担当課は少なくとも月に１回２回は現場に出向き実情を把握し、予算が必要なものは予算要求し、近隣の同種の運営の仕方・情報を得るよう努めてください。

今後も、阿波市で取り組めることを調査・検討・協議し実現できるよう努力してまいります。

本日は、誠にありがとうございました。